

AIからROIへ: プレイバック イコールペイバック

IBMワトソンメディアが、ビデオ業界の経済学を永遠に変えてゆく仕組みをご紹介します。

人工知能は、今日においてもビデオ業界では比較的新しい存在であり、ビジネスを加速する影響力については、最近理解され始めてきたばかりです。しかしながら、IBMワトソンメディアのビデオエンリッチメントのようなコグニティブソリューションの適用は、船乗りの冒険家たちが究極の報酬「隠された財宝」を求めていた数世紀前のアナロジーを彷彿とさせるかのようです。

従前は見えることのなかったパターンや可能性にスポットライトを当てる - ビデオ業界の「隠された財宝」を掘り出す - ことにより、ワトソンビデオエンリッチメントは、利益率を改善し、数値化可能な効率を達成、そして顕著な投下資本利益率を生み出す極めて優れた商機を生み出すことができます。ビデオコンテンツのカタログ化から、高度な「広告とコンテンツの遭遇」認識まで、ワトソンによって可能性の扉を放たれた分析により、ビデオ業界の参加企業は、優れたROIにつながる事業成果の大幅な(そして迅速な)改善を実現することが可能になります。

結果として、コグニティブ分析が適用されているほぼすべての事業分野での実現が可能ですが、しかしながら、これらはマネタイゼーションの可能性の宝庫が、ビジネスの本質的なインフラを形成するオーディオビジュアルインフォメーションの海に漂う、動画の分野で特に適性が高いと言えます。

メディア・エンターテインメント業界は、IBMワトソンメディアのAI機能にとって理想的な実践環境です。なぜならば、同業界の主要商品は、業界そのものが情報の倉庫であるからです。私たちが単一のビデオ「アセット」と見なす傾向があるもの - 連続TVドラマ、ライブスポーツイベント、ニュースクリップ又は長編映画 - は、可視化された場合、実際には膨大な価値を生み出す情報の断片が何百万も集まってできたものなのです。

一件の共通事例として、コンテンツ整理およびプレゼンテーションの実践を紹介しています。今日、最高級のエンターテインメントビデオカテゴリーで最も高い人気を誇る参加企業さえも、それらが提供するコンテンツについて極めて粗雑なメタデータ記述子に格下げされてしまいます: ジャンル、俳優、番組期間、評価。それでもなお、人間の参加度の現実、これとは大いに異なるものです。感情、ペルソナ、トーン、外部の経験と社会的関係のような影響は、個別化された興味と魅力に関してユニークなパターンを生み出すかたちで収束します。ワトソンは、自然言語理解(NLU)、被写体認識およびその他のアプリケーションプログラムインタフェース(API)を利用し、それぞれの場面で発生する極めて微妙な語彙表現、画面上のキューやこれを取り巻く文脈さえも特定することが可能です。この詳細な分析により、前例がないほど高い利便性と理解度をもってビデオコンテンツを評価して、記述することを可能にします。

私たちのメタデータ基盤を取り巻く構造、文脈、本質的な人間性を解放するためにコグニティブ能力を利用することとは、私たちがそのボトムラインに与える影響の可能性を認識するまでは、抽象的に聞こえるかもしれません。以下のモデルが示すように、定期購読者の月間平均解約率を若干削減するだけで - コンテンツのプレゼンテーション方法やビューワーの興味分野により率直に合わせたコンテンツの導入を通して -、ROI計算におけるコスト節減や利益積立金にあたる部分に極めて大きな貢献につなげることができます。

ワトソンビデオエンリッチメントは、利益率を改善して、数値化可能な効率を達成し、顕著な投下資本利益率を実現する上で、優れた商機を掘り出すことが可能です。

解約件数ダウン、収益アップ

| | 改善されたサーチアプリケーション - 解約件数の削減 | | |
|-------------------|----------------------------|-----------|--------------------|
| 品質の向上した検索による解約の減少 | アプリケーション上のビューワー数 | 1,000,000 | |
| | 月次ビューワーあたり価値 | 10ドル | |
| | 現在の月次解約件数 | 2.5% | 年間節約額 |
| | 月次解約件数の減少 | 1.6% | 1,080,000ドル |

上記の情報は、ビデオ業界におけるコグニティブ分析の「全体像」というテーマを証明する、一般的に引合いに出される事例です。しかしながら、これは単なる例の一つに過ぎません。コグニティブ分析の最も説得力ある特徴の一つは、これによって可能になるビジネスの可能性の幅広さと言えます。

率直すぎる記述子を用いて手作業でビデオセグメントにタグ付けを行うというニュース編集室のお決まりの作業は、アーカイブ作業担当者が利用することのできるツールが限定的である状況を鑑みると、時間がかかり、労働集約的で、エラーを起こしがちな作業です。ワトソンビデオエンリッチメントは、まったく新しい可能性の扉を開けてくれます。20秒間のクリップを取り込み、複雑な構造に分解 - 時間、場所、件名だけではなく、雰囲気、単語毎のナレーション、そしてフレーム内に表示される被写体さえも含めた個別の明細化 - することで、かかる作業を行うのに必要な時間を大幅に短縮しつつ、同時にはるかに有用性と利便性の高い詳細情報を作成することが可能になります。ここにおける作業員原価の節減 - ROIモデルにおけるもう一つの重要な要素 - は、即時的且つ永続的に効果を発揮します。

検索をストップ。増益をスタート。

| | より高品質な検索効率 - 時間の節約 | | |
|-------------------|--|----------|---------------------|
| 品質の向上した検索によるコスト節減 | 特定のコンテンツを探しているエディター、プロデューサー又はその他の人たちの数 | 150 | |
| | 無意味な検索に毎月何時間も浪費 | 10 | 年間節約額 |
| | 当該従業員の平均給与 | 75,000ドル | 649,038.46ドル |

これらの特徴は、移り気なビューワーの忠誠心と、破壊的な進歩を遂げる技術が極めて激しい競争的・経済的プレッシャーを形成しているビデオ業界において、重要性を増しています。多くの事業部長が証言しているように、増益・原価低減を実現しつつ、同時にユーザーエクスペリエンス(ここで言うユーザーは、広告主、ビューワーと社内の管理職等をさします)を改善するのは、容易なことではありません。しかしながら、それは正にIBMワトソンメディアがその達成に貢献できる項目です。コグニティブ能力が、営業実績の向上とポジティブなROIにつながるビデオ業界において、重要な分野は以下の通りです:

取引式のビデオオンデマンド収益改善。 特定の品質が顧客の好奇心をくすぐるプログラムの製作につながる仕組みを理解することは、大幅な購入および収益の増加につながるということです。提供したコンテンツの20%が収入の80%(異常な比率ではなく)以上を生み出している場合、類似の資産を入手・提示することが可能になることで、収益性を大幅に改善することにつながります。お客様に購入という決断まで導くものは何か。そして導けないものは、これをより微細に理解しているか否かは、営業力において大きな違いを生みます。

社内アーカイブ作業とメタデータの作成。 ビデオアセットを視聴・評価・タグ付けするためのフルタイムの従業員を維持することは、一般的にはニュース、スポーツとその他の大ボリュームコンテンツ環境において事業を行う上での必要条件として考えられています。このプロセスを自動化することで、人件費の削減を通じた原価への直接的な改善を実現しつつ、タグ付けエラーの削減やリソースの解放といった利益を享受することが可能になります。

社内検索とコンテンツ特定。メタデータが適用された時でも、大量のコンテンツを素早く検索することは困難で、時に不可能です。結果として、潜在価値を有するアセット - 特定の投球数の間で人気を博する野球選手が登場するハイライトリール、あるいは特定のフェーズで耳目を集める候補者の選挙演説を収集したものを想像してください - であっても、お馴染みの編集室の床に置き去りにされています。Watsonビデオエンリッチメントなら、検索パラメーターと効率を劇的に上げ、コンテンツオーナーがより簡単に既存アセットの価値を向上することが可能になります。

より高品質な外部サーチ。多様な選択肢に溢れる今日でさえも、消費者は自分の観たい番組を、観たい時に(そして観たい場所で)観ることができない場合がしばしばあります。Roviのために2015年9月に実施された調査に回答した消費者の3分の1が、テレビで観たい番組を見つけることができないことが多々あると回答しました。高度且つ直感的な方法によるコンテンツの表示・提案は、ユーザーの満足度向上、ロイヤルティの構築、その参加度の増加、そして顧客離れの削減といったことを実現することができます。これらは、広告主にスポンサーされている放送から定期購読式ビデオオンデマンドプラットフォームに至るまで、ビデオ業界におけるすべての重要分野における業績の改善を実証する、多くの業界関係者も認識している要素です。例えば、下表はビデオ中心のデジタルアプリケーションにおいて、ビューワーの参加度を向上することがいかに収益の増加につながるかを示しています。

成長のためのユーザーの惹きつけ

| | アプリケーションにおけるより高品質な体験 - より高品質な体験 | | |
|---------------------|---------------------------------|-----------|------------------|
| 品質の向上した体験から生み出された収入 | アプリケーション上のビューワー数 | 1,000,000 | |
| | 月次ビューワーあたり価値 | 10ドル | |
| | アプリケーションの月間利用時間 | 10 | 年間増加額 |
| | 参加度の増加 | 5.1% | 510,000ドル |

IBM Watsonメディアの展開は、改善された検索とプレゼンテーションテクニックにより実現した使用頻度の向上のお陰で、広告業界が対応しているビデオビジネスにとって、ポジティブなROIを生み出す環境が整っています。インプレッション単価(CPM)率25ドルあたり年間8,000万の視聴回数を生み出す一つのビデオプラットフォームにおいて、視聴トレンドが保守的に見積もって僅か10%上昇した前提でも、優れたROI - 具体的には、3年間で86% - へとつながる、有意義な収益の改善を実現することが可能です。視聴回数が20%増加したことで、投下資本回収期間は8カ月以下に短縮され、投下資本利益率は273%も増加します。

コグニティブ技術により機能を強化した、広告戦略のニューレベル

| WatsonメディアROI | | 保守的な見積もり |
|------------------------|---------------|--------------|
| 予想される動画閲覧回数の上昇 | 10% | 20% |
| 逐次的ビデオ閲覧回数 / 月 | 8,000,000 | 16,000,000 |
| 逐次的収入 / 月 | 200,000ドル | 400,000ドル |
| ライブラリ / NREペイバック期間 (月) | 17.05 | 7.98 |
| 年間純利益 | マイナス888,000ドル | 1,512,000ドル |
| 年間ROI | -27% | 46% |
| 三年間純利益 | 3,336,000ドル | 10,536,000ドル |
| 三年間ROI | 86% | 273% |

これらは、人工知能の品質を高める方法を探し続けるすべてのビデオビジネスにとって、明らかに説得力のある事例と言えます。「より多く」とは？ これらは、すべての分野のビデオビジネスモデルにおいてコグニティブシステムの可能性を裏付ける事例と言えます。ここでの共通項は、コンテンツ、ビューワー、相互作用とメタデータの既存の組み合わせの中でうごめいている、貴重な洞察、アイデアと関係性を表に持つてくる能力です。

ビデオ業界の参加企業にとっての朗報は、それらの企業が既に基盤を成す宝物を所有しているということです。その発見に投資することをいとわない人たちが、勝利者であると言えます。

© Copyright IBM Corporation 2017

IBMクラウド・ビデオ
550 Kearny Street, Suite 600
San Francisco, CA 94107.

アメリカ合衆国にて制作
2017年8月

IBM、IBMのロゴ、IBMクラウド・ビデオのロゴ、IBM.com、UStreamは、International Business Machines Corp.の登録商標で、世界中で数多くの管轄区域で登録されています。他の製品名やサービス名は、IBM又は他企業の商標である場合があります。IBM社商標の最新リストは、ibm.com/legal/copytrade.shtmlの「著作権と商標の情報」セクションでご覧いただけます。

本書に記載されている情報は、初版発行日の時点で最新ですが、IBMによって随時変更されることがあります。IBMが事業を展開しているすべての国で、全ての製品・サービスをご利用いただけるわけではありません。

本書に記載されている情報は、商品性のいかなる保証、特定目的に関する適合性、ならび非侵害に関するいかなる保証および条件を含め、明示と暗示を問わず、一切の保証なしに「現状のまま」で提供されています。

IBM製品は、製品提供の際に締結された契約条件に基づいて保証されています。

確実なセキュリティ実施に関する宣言文: ITシステムセキュリティでは、御社内外からの不正なアクセスに対する予防や検知、応答によるシステムや情報の保護が行なわれます。不正なアクセスによって、情報が改変・破壊・横領・不正使用されたり、他者に対する攻撃を含むシステムの破損や不正使用が行なわれたりすることがあります。完璧に安全と見なすことのできるITシステムや製品はありません。又、単一の状態で不正アクセスを防止する上で完璧に効果を発揮できる製品、サービス、セキュリティ対策もありません。IBMのシステムや製品は、総合セキュリティアプローチの一部を成すものとして設計され、必要に応じて操作手順の追加が行なわれます。その効果を高めるべく、他のシステムや製品、サービスを必要とする場合があります。IBMは、そのシステムや製品が、何らかの第三者による悪意ある又は非合法的な行動の損害を被るリスクにつき、これを一切保証いたしません。

